

クリスマス特別企画

南アフリカ共和国のクリスマス



もうすぐクリスマスです。皆様は、クリスマスをどの様にお過ごしになるでしょうか。神のおとずれでは、昨年からの世界の家庭や教会で、どの様にクリスマスがお祝いされているかを12月号に掲載しております。

今年も、松江基督教会(島根県松江市)の主日礼拝に出席されている南アフリカ共和国からの留学生アルテアさんと同教会牧師の杉野達也司祭にご協力をいただき、南アフリカ共和国のクリスマスについて記事を提供していただきました。

読者の皆様が世界のクリスマスの過ごし方を参考に、いつも以上に喜びを感じながらクリスマスをお過ごしいただければ、幸いです。

(広報部 浪花)

南アフリカ共和国のクリスマスについて

私は、南アフリカ聖公会の信徒です。現在、島根大学で学んでいる大学生です。私の

母国である南アフリカのクリスマスについて紹介します。

南アフリカは人口の80%がクリスチャンです。クリスマスは1年間で最大のイベントです。12月に入ると、街はクリスマス一色に染まります。ショッピングモールにはクリスマスツリーが飾られ、イエスの誕生をお祝いする準備を行います。教会では、アドヴェントの間は教会歴と典礼に従ってイエス様の到来の準備をします。また礼拝で歌う聖歌は、イエス様の到来についての聖歌のみを歌います。

クリスマスは、学校も企業も休みになります。都市に住んでいる人は普段家族と過ごす時間が少ないので、この時期にまとめて休暇をとる人が多いです。多くの人は自分の村へ帰り、家族や友人など愛する人と共にクリスマスを過ごします。

日本に来て一番驚いたことは、クリスマスがとても寒い時期にお祝いされることです。寒い中でクリスマスを

祝したのは初めてです。南アフリカは日本とは四季が逆でクリスマスはとても暑い夏にお祝いされます。

クリスマス前日に、時間がかかる野菜の下準備を行い冷蔵庫に入れます。クリスマス当日は、教会から帰ってくる肉と米を準備し、焼いて食べます。私自身はクリスマスにターキーやケーキといった特別な食事はしたことがありませんが、裕福な家族は食べているかもしれません。大晦日には、ブライを行います。ブライとは、バーベキューのことで、グリルを囲み肉や魚、野菜を焼きながらゆっくりとおしゃべりをして時間を過ごします。南アフリカ人はブライが大好きです。クリスマスシーズンに限らず、1年を通して家の庭先や公園、ビーチで行います。

私たちの教会の礼拝は、朝8時に始まり、10時に終わります。クリスマスもこの時間帯で行われます。クリスマスにはお互いにプレゼントを交

換し合います。

クリスマス次の日である12月26日は、「ボクシングデー(Boxing Day)」です。教会が貧しい人たちのために寄付を募ったクリスマスプレゼントの箱(Box)を開ける日だったことから、ボクシングデーと呼ばれるようになったそうです。現在では、1年で一番安くなるバーゲンの日になっています。クリスマスの日には、街は閑散としています。この日は多くの人で賑わっています。この日は朝からショッピングを楽しむ人が多いです。

(アルテア・モクガタ)
Althea Mokgata
(南アフリカ共和国国旗)
引用元: Wikipedia)

